

令和 8 年度 第 2 回三鷹市スポーツ推進審議会 会議要旨

開催日	令和 8 年 7 月 31 日（金曜日）	時 間	15：00～17：00
会 場	三鷹市公会堂さんさん館第 4・5・6 会議室	傍聴人数	0 人
出席者	助友委員、吉田委員、苔口委員、松谷委員、五味川委員、相原委員、安中委員、笠井委員、狩野委員、鈴木(康)委員、中村委員、鈴木(浩)委員、内藤委員		
欠席者	高橋委員、米田委員		
行 政	大朝スポーツと文化部長、平山スポーツと文化部調整担当部長、市橋スポーツ推進課長、福田スポーツ推進課総括主査、山口スポーツ推進課主事		
内 容	1 委嘱式 河村市長から各委員に委嘱 開会 (1) 委員出席状況について 委員の出席状況は、委員定数 15 人のうち 13 人の出席により、委員の過半数が出席し、定足数に達していることから、本日のスポーツ推進審議会は有効に成立している。 (2) 傍聴希望について 市民会議、審議会等の傍聴は、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、原則として公開している。本日は、現時点で傍聴の希望はないが、希望があった場合、条例に基づき入場いただく。 (3) 会議録の作成と公開について 三鷹市の市民会議、審議会等では、会議録を要録として作成し、公開している。会議の内容を録音し、会議録の原案を出席委員に確認のうえ、市のホームページと総務部相談・情報課にて公開を行う。 2 正副会長互選 会長 助友委員 副会長 相原委員 3 市長あいさつ（河村市長） 4 三鷹市スポーツ推進審議会、三鷹市スポーツ推進計画 2027 に係る概要説明 5 議題に係る各委員からの意見等 (1) 三鷹市スポーツ推進計画 2027 の成果指標の達成状況（令和 7 年度速報値）等について 助友会長：施策の達成度を測る指標である「週に 1 回以上スポーツ活動を行っている市民の割合」について、計画策定時は 57.5%で、目標値は 65%となっているが、現在はどの程度伸びているのか。 市橋課長：当該指標については 4 年に 1 度実施する市民満足度調査により把握しているため、現時点では把握していない。今年度、市民満足度調査を実施する予定である。		

内 容	鈴木(浩)委員：市民満足度調査はどのような方法で実施しているのか。私自身はこれまで回答したことがない。 市橋課長：市民満足度調査はスポーツ分野に限らず、市政全般について調査するものであり、前回は満 15 歳以上の方 3500 人を無作為抽出した市民を対象に実施している。 内藤委員：「週に 1 回以上スポーツ活動を行っている市民の割合」について、目標値である 65%はかなり高い数値だと感じる。また、前回調査の回答者数 1,529 人については、三鷹市の人口規模からすると少ない印象を受ける。今年度も同程度の人数を対象に実施する予定なのか。 市橋課長：今年度についても前回と同程度の規模で無作為抽出による調査を予定しているとのことである。数については、市の傾向を把握するためには十分なサンプル数であると認識している。 内藤委員：より多くの回答を得られる方が望ましいのではないかな。 市橋課長：回答率向上に向け、紙による回答に加えてオンライン回答も実施する予定である。 助友会長：調査対象者数及び回収率はどの程度であったか。 市橋課長：3,500 人へ配布し、回答数は 1,529 人で回収率は 43.7%であった。 大朝部長：近年はオンラインによる回答方法も普及しているため、若年層からの回答も期待している。 安中委員：三鷹市公式 LINE 等を活用し、LINE 上で回答できるようになれば、更に多くの回答が得られるのではないかな。 大朝部長：調査には、統計学的な精度を担保するため、確実に三鷹市民に限定して無作為抽出を行う方法と、三鷹市民だけと限定せずに実施するより幅広い意見を収集するための方法がある。三鷹市民に限定する市民満足度調査とは別に、LINE 等を活用し、より多くの方からスポーツの実態を把握する調査についても検討していきたい。 狩野委員：スポーツとは何をもってスポーツとするのか。例えば通勤時に最寄り駅の一つ手前で降りて歩くことはスポーツに含まれるのか。 大朝部長：スポーツの定義については、本日の会議の中でもご意見をいただきたいと考えていた事項である。アンケートにおいても、スポーツの内容や活動内容を選択できるものとしたいと考えているため、具体的な項目等についてご意見をいただきたい。 助友会長：三鷹市スポーツ推進計画 2027 の 4 ページにおいて、「ルールに基づいて勝敗や記録を競うものだけでなく、余暇時間や仕事時間等を問わず健康を目的に行われる身体活動や楽しみを目的とした身体活動まで幅広く捉えることとします。」と記載されている。市が定めるスポーツの定義と整合した調査内容とすることが重要である。 鈴木(康)委員：資料に令和 7 年度速報値と記載があるが、今後数値が変わる可能性はあるのか。 市橋課長：基本的に数値自体が変わることはない認識しているが、決算に係る行政内部の手続きが完了していないことから速報値としている。 相原委員：市スポーツ施設利用者数は増加傾向にあるものの、目標値である 130 万
-----	---

内 容	人を達成するためにはまだ距離があるように感じている。大沢総合グラウンドや井口グラウンドの改修工事等の影響もあると思われるが、今後の見通しについて教えてほしい。 市橋課長：令和7年度は大沢総合グラウンドサッカー・ラグビー場のリニューアル工事に伴い、半年近く利用を停止していたため、令和8年度は利用者数の増加が見込まれる。また、井口グラウンドについても令和7年7月から供用を開始しており、利用者増加が期待される。さらに、大沢総合グラウンドテニスコート改修工事など施設整備を進めるとともに、学校体育施設開放事業やJAXA敷地内グラウンドの活用など、新たな運動機会の創出にも取り組んでいる。一人でも多くの市民に利用していただけるよう工夫していきたい。 五味川委員：スポーツ推進課とは別の所管で実施している放課後の校庭開放についても、利用者として集計できれば利用者数増加につながるのではないかと。近年の子どもたちは体力の二極化が進んでおり、習い事等で運動している子どもとそうでない子どもの差が広がっている。校庭開放により、ボール遊びなど身体を動かせる場所を確保できていることは大きな意義がある。 助友会長：国が進める「健康日本21」においても、小学校5年生の女子のスポーツ実施率向上が重要な目標として位置付けられている。 吉田委員：スポーツ協会の加盟会員数はコロナの影響もあり減少傾向となっている。また、近年の荒天の増加により、大沢野川グラウンドが利用できない状況も多く、消毒等に時間を要することも利用者減少の一因ではないかと考えている。 (2) 市民満足度調査（10月実施予定）について 笠井委員：eスポーツに関する議論の際にも話題となったが、「スポーツ」と「運動」の定義が明確になっていないケースが多い。スポーツと運動は同じではない。今回のアンケートでは選択肢を16項目としているが、その理由について伺いたい。 市橋課長：広い意味ではスポーツの中に運動も含まれるものと考えている。本調査は、どのスポーツを行っているかを把握することよりも、スポーツを実施しているか、またその頻度を把握することを目的としている。以前の審議会で話し合ったとおり、東京都が実施している都民のスポーツ活動に関する実態調査と同様の設問内容を想定していたが、市民満足度調査としては設問数が多いため、所管部署から16項目程度に整理してほしいとの依頼があり、現在の案を作成した。 吉田委員：選択肢を増やすことが可能であれば、問48の欄に問48-3の選択肢をいれるべきではないのか。このままだと、問48を回答した後に、問48-3のような選択肢があることに気付くことになると思う。 市橋課長：分かりやすくなるよう、選択肢を検討し調整する。 鈴木(康)委員：東京都の調査では、エレベーターを使わず階段を利用するといった身体活動もスポーツとして扱っている。そのような活動を含めれば実施率の向上につながると思われる。一方で、以前の審議会では前回調査と同じ設問とすることにより比較可能性を確保するという考え方もあった。
-----	--

	市橋課長：以前の審議会で協議した結果、資料５のとおり東京都の設問を参考に作成した。当初は東京都の調査と同様の内容を想定していたが、市民満足度調査としては設問数が多いため、所管部署から 16 項目程度に整理してほしいとの依頼があり、現在の案を作成した。 大朝部長：本日いただいたご意見を整理した上で庁内協議を行い、修正案をメールで委員へ共有したい。調査までの期間が限られているため、追加意見がある場合は早めに連絡をいただきたい。 6 報告に係る各委員からの意見等 (1) 三鷹体操の実施状況等について 松谷委員：三鷹体操については、いつでも実施できるよう、スポーツ推進委員の定例会や会議等において継続的に練習を行っている。 (2) 事業予定等について 7 審議会スケジュール 令和８年度スポーツ推進審議会の日程について 第３回 令和８年 10 月 23 日（金）午後 3 時 30 分から 第４回 令和 9 年 2 月中旬 8 閉会あいさつ（相原副会長）
--	---